

2022 年度事業報告

1 電話相談員

(1) 相談員の拡充

静岡いのちの電話相談員は令和 4 年 4 月現在、登録相談員数は 79 名であったが、年度内に 21 期生が 5 月に 1 名、22 期生が 1 月に 15 名認定され、相談活動に加わった。10 月からは 23 期生の養成研修が始まり、6 人の研修が始まった。

(2) 相談員の研修

電話相談員の資質向上のための継続研修及び個人スーパービジョン研修を実施した他、12 月と 2 月には相談員全体研修を実施した。

(3) 相談員の支援

新たに認定し、実務に参加した相談員や、困難な相談を受けた相談員を支援するために、お助け隊や「ささえあい活動」などを積極的に活用し支援活動を行った。

(4) 相談員の表彰

相談時間が、1000 時間に達した 6 名、500 時間に達した 5 名の相談員に対し理事長から感謝状及び記念品を贈呈した。

2 受信状況（暦年）

(1) 静岡いのちの電話相談件数と自殺志向相談電話

2022 年の相談件数は 8,821 件で、前年に比べ 183 件減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により相談枠の減少が響いたこと、休務等による実務相談員の減少によるものと思われる。

(2) フリーダイヤル・インターネット（全国共通、静岡分）

日本いのちの電話連盟と連携しながら、フリーダイヤル電話相談を実施した。さらに 6 月からは、連盟の要請により、毎日フリーダイヤル事業に参加した。日本いのちの電話連盟インターネット相談は、相談員研修を 2 名が受講し合計 7 名となり体制が強化された。

3 公益事業

(1) 電話相談ポスターの掲示・カードの配布

赤い羽根共同募金の助成を受け、医療機関、ハローワーク、公民館などにいのちの電話呼びかけポスター 750 枚を配布した。

(2) 講演会・映画会

① 静岡いのちの電話自殺予防公開講演会

令和 4 年 7 月 10 日にアイセル 2 1 ホールにて実施し、120 名が参加。演題は「良い眠りが認知症を予防する」 講師は功刀 弘 氏

② 赤い羽根自殺予防講演会

令和4年10月30日に、静岡労政会館ホールにて実施し、140名が参加。演題は「コロナ禍、自分にできることは」講師は湯浅 誠 氏。

③ 自殺予防公開映画会

令和5年1月22日に、サールナートホールにて実施し、180名が参加。上映映画は「痛くない死に方」（主演：柄本 佑）

4 広報事業(広報誌の発行)

6月及び12月に広報誌を発行した。12月には一部をカラー刷りとするなど、紙面を刷新しイメージアップに努めた。

2023 年度事業計画

1 電話相談員

(1) 相談員の拡充

2023 年 3 月現在、登録相談員数は 79 名である。2023 年度中には 22 期生 2 名と 23 期生 6 名が実務に参加する予定であるが、さらに相談員の増加を目指し、24 期生の受講生募集を 6 月から開始し、研修を 10 月には開始する。

(2) 相談員の研修

相談員を 8 グループに分け毎月実施する継続グループ研修の他、相談員全体研修会、個人スーパービジョン研修、自己啓発研修を実施する。

(3) 相談員の支援

新規認定相談員や困難な相談を受けた相談員を支援するため、「ささえあい活動：相談員の居場所」を、また突然電話担当ができなくなった相談員の相談枠確保のため「お助け隊」活動を実施し、支援活動を行う。

2 受信状況

(1) 電話相談件数

2022 年の総受信件数は前年に比べ減少し、コロナにより約 1 か月半休止した令和 2020 年に並んだ。全体的には長期的に減少傾向にあるといえる。この原因はコロナによる相談枠の減少、登録相談員の漸減によるものであり、相談員活動の環境整備をさらに進め、休務者を減らし、相談枠を確保することにより、受信件数を増加に転じていく。

(2) フリーダイヤル電話相談

日本いのちの電話連盟の要望により、昨年 7 月から毎月 10 日だけでなく、毎日フリーダイヤルが実施された。今後相談員に働きかけ、実施件数を増やしていく。

(3) インターネット相談

日本いのちの電話連盟の研修により、相談員を増員していく。

3 公益事業

(1) 中学生向け自殺予防カードの配布・電話相談ポスターの掲示

赤い羽根共同募金の助成を受け、中学生を主な対象とし、悩みの相談を促す電話相談カードを 8 万枚印刷し、7 月中旬までに県内東・中部の中学校へ配布する。

(2) 講演会・映画会

厚生労働省の助成により「静岡いのちの電話自殺予防静岡講演会」を 5 月 13 日に大空幸星氏を講師に迎え実施するほか、「市民公開講座、映画上映会」を計画的に実施する。

(3) 会員・寄付金の拡充

広報誌、新聞等のマスメディア、関係者のクチコミ等により、社会福祉法人静岡いのちの電話の存在を PR することにより、会員数、寄付金額の増加を目指す。

4 広報事業

6月及び12月に広報誌を発行する。また、現在のホームページを更新し、スマートフォンにも対応できるようにする。